

- 問1 ユーラシア大陸の南西部に位置するアラビア半島の地理的な特徴と地域区分に関する説明として最も適当なものを、次のうちから一つ選びなさい。（2026年 徳島県公立入試 類似）
1. 太平洋とインド洋に面する島々で構成されているため、六大州の区分ではオセアニア州に分類されます。
 2. 紅海の西側に位置しアフリカ大陸と一体となっているため、六大州の区分ではアフリカ州に分類されます。
 3. アフリカ大陸の北東側に位置し隣接していますが、六大州の区分ではアジア州に分類されます。
 4. 地中海の北側に位置しヨーロッパと近接しているため、六大州の区分ではヨーロッパ州に分類されます。
- 問2 インドの産業において、デカン高原の存在は農業・工業の両面で重要な役割を果たしてきました。この高原の自然環境と産業の関係についての説明として正しいものはどれですか。（2022年 長野県公立入試 類似）
1. 標高が高く極めて乾燥しているため農耕には適さず、主にヤクや羊などの遊牧が住民の生活を支えている。
 2. ラテライトと呼ばれる赤色の土壌が広く分布しており、高冷な気候を利用した茶のプランテーションが展開されている。
 3. 焼畑農業による大規模な森林開発が進んだ結果、現在は牧草地へと転換され、世界有数の肉牛の飼育地となっている。
 4. レグールと呼ばれる肥沃な黒色の土壌が分布しており、古くから綿花の栽培が行われ、繊維工業の発展を支えた。
- 問3 2012年時点の統計において、世界で4番目に広い国土面積（約960万平方キロメートル）を持つ国はどこか。この国の面積は、3位のアメリカ合衆国よりもわずかに小さい。（2016年 北海道公立入試 類似）
1. 中国
 2. カナダ
 3. ロシア連邦
 4. ブラジル
- 問4 東南アジアの多くの地域で見られる「雨季」と「乾季」の仕組みと、それが自然環境に与える影響について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 一年を通じて赤道低圧帯の影響を受けるため、季節による降水量の変化はほとんどなく、湖の面積は年間を通じて一定に保たれる。
 2. 一年中西から東へと吹く偏西風がヒマラヤ山脈にぶつかることで、山麓の地域だけに大量の降水をもたらす、下流の湖の面積を変動させる。
 3. 数年おきに発生するエルニーニョ現象によって、雨季の時期だけ極端に海水温が上昇し、その水蒸気が供給されることで降水量が著しく増加する。
 4. 季節風の影響で、特定の時期に海洋から湿った風が吹き込み降水量が急増するため、トンレサップ湖のように面積が数倍に拡大する湖が存在する。
- 問5 中国において、地域による経済的な偏りを是正し、持続的な成長を目指すために行われている政策や現状について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2018年 沖縄県公立入試 類似）
1. 沿岸部の過密を解消するため、すべての経済特区を内陸部の砂漠地帯へと移転させ、沿岸部の工場を全面的に閉鎖する政策が進んでいる。
 2. 経済発展が著しい沿岸部に対し、遅れている内陸部の開発を促進するため、鉄道や道路などのインフラ整備を進める「西部大開発」が行われている。
 3. 内陸部の農村一人ひとりに最新のIT端末を配布することで、工業化を経ずに情報通信業だけで沿岸部の経済水準を追い抜く計画が完了した。
 4. 東南アジア諸国連合（ASEAN）と協力し、国内の内陸部にある全工場をベトナムやフィリピンへ移転させることで、国内格差の解消を図っている。
- 問6 インドの自然環境と人々の生活について述べた文として、地理的な背景から見て最も適切な説明を選びなさい。（2025年 岐阜県公立入試 類似）
1. デカン高原の北側を流れるインダス川は、ヒンドゥスタン平原の中央を貫き、東側のベンガル湾へと流れる。
 2. インドの西側を流れるガンジス川は、乾燥した砂漠地帯を潤しながらアラビア海へと注いでいる。
 3. 北部のヒンドゥスタン平原は、ガンジス川の運ぶ土砂によって形成された肥沃な地域であり、人口が密集している。
 4. インド北東部を流れるブラマプトラ川は、ヒンドゥスタン平原を形成する主要な河川であり、南側のインド洋へ直接注ぐ。
- 問7 日本企業が生産拠点を東南アジア諸国に移転・進出させる主な背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。なお、ある統計資料における平均賃金指数（日本を100とする）では、中国が31.0であるのに対し、インドネシアが13.5、ベトナムが8.5、マレーシアが14.8となっています。（2020年 茨城県公立入試 類似）
1. 中国の労働力が不足し、東南アジアの方が日本よりも平均賃金が高くなったため
 2. 東南アジア諸国の平均賃金が中国よりも高く、現地の労働者の購買力が日本を上回っているため
 3. 東南アジア諸国では日本国内よりも平均賃金が高く、付加価値の高い製品を販売しやすいため
 4. 東南アジア諸国の平均賃金が中国よりも低く、より安価な労働力を確保することで生産コストを抑えられるため
- 問8 タイとマレーシアの輸出上位品目の変遷をまとめた記録において、1980年時点と2016年時点の状況を比較した記述として正しいものはどれですか。（2019年 千葉県公立入試 類似）
1. タイでは1980年に「米・野菜・天然ゴム」が上位であったが、2016年には「機械類・自動車・プラスチック」が上位となっている。
 2. マレーシアでは2016年においても、天然ゴムと木材が輸出総額の半分以上を占める主要な輸出品のままである。
 3. マレーシアでは1980年に「原油・天然ゴム・木材」が上位であったが、2016年には「米・野菜・天然ゴム」が上位に代わっている。
 4. タイでは1980年代から一貫して機械類の輸出が最大であり、2016年にはさらにその割合が拡大している。
- 問9 南アジアに位置するインドでは、近年、ソフトウェア開発などの情報技術（IT）産業が目覚ましい発展を遂げています。この背景にある社会的・歴史的な要因について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 山形県公立入試 類似）
1. 政府がカースト制度の身分ごとに従事できるIT分野を細かく指定したことで、効率的な分業体制が確立された。
 2. 古くからの身分制度を完全に廃止し、全人口が平等に高度な情報教育を受けるための法整備が19世紀中に完了していた。
 3. IT産業は比較的新しい産業であるため、カースト制度などの伝統的な身分制度による職業選択の制約を直接受けにくかった。
 4. ASEAN（東南アジア諸国連合）への加盟を機に、身分制度に関係なく自由に就職できる労働環境が周辺諸国から導入された。
- 問10 東南アジア諸国の2019年時点における経済状況について述べた次の文の空欄にあてはまる国名を選びなさい。「インドシナ半島に位置するマニラ、タイ、カンボジア、ベトナム、ラオスの5カ国の国内総生産（GDP）をすべて合計しても、東南アジアで最も人口が多い（ ）1カ国の国内総生産には及ばない。」（2023年 茨城県公立入試 類似）
1. フィリピン
 2. インドネシア
 3. マレーシア
 4. シンガポール
- 問11 21世紀に入り急速な経済成長を遂げているアジアの国に関する説明です。2019年の統計において、自動車生産台数が約452万台に達し、アジアでは中国、日本に次ぐ第3位（韓国やタイを上回る規模）となっている国を次の中から選びなさい。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
1. 韓国
 2. タイ
 3. ベトナム
 4. インド